

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
芸術	音楽Ⅰ	2	必修（選択）	R6・1	全HR
使用教科書	MOUSA1（教育芸術社）				
副教材	MUSIC NOTE（啓隆社）				

1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2. 学習方法

- ・基本的に、教科書を中心に授業を進めていきます。必要に応じて必要に応じて授業で使用する楽譜等はこちらで準備します。
- ・歌唱活動やアンサンブル活動はパートまたはグループをその都度編成し、取り組みます。
- ・DVDやインターネットを活用し、多角的に音楽をとらえながら理解を深めていきます。

3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	校歌・日本の音楽 に親しもう	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。	主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	5 月				

1 学期	6 月	和楽器に挑戦	- 様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 - 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。	主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
	7 月	世界の音楽の歴史①	音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
2 学期	9 月	世界の音楽の歴史②	音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	10 月	グループアンサンブル 選曲・練習 発表	- 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 - 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。	主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。
	11 月				
	12 月				
3 学期	1 月	日本の音楽の歴史	我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	2 月	合唱の響きを味わおう	- 様々な表現形態による歌唱活動の特徴について理解している。 - 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。	主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	3 月	1年間のまとめ			

5. 教科担当者より

- ①教科書・ファイル・筆記用具は毎時間必ず準備をし、忘れ物がないようにしましょう。
- ②授業では、様々な題材や楽器を多く取り入れ、多彩な活動を展開します。積極的に取り組みましょう。
- ③授業で使用する楽器等は、丁寧に扱い後片付けをきちんとしましょう。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
芸術	美術 I	2	必修修(選択)	R6・1	全HR
使用教科書	高校生の美術 I (日本文芸社)				
副教材	なし				

1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2. 学習方法

作品制作学習。課題を準備し、生徒の個性を尊重した画材の提供を行い、表現の可能性に臨機応変に対応する。学校行事などの関係で学習項目が入れ替わることがある。

3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 - 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	構内を切り取る	- 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 - 意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。	表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	主体的に絵画の表現の創造活動に取り組もうとしている。
	5 月				
	6 月	読書感想画	読書感想画について、意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。	自然や自己、生活などを見つめ、感じ取ったことや考えたこと、夢	主体的に絵画の表現の創造活動に取り組もうとしている。

	7月		る。 ・表現方法を創意工夫し、主題を追及して創造的に表している。	や想像から主題を生成している。	
2 学 期	9月	文字のデザイン	・造形の要素の働きを理解している。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。	・目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成している。 ・デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	・主体的にデザインの表現の創造活動に取り組もうとしている。
	10月				
	11月	ポスター制作	・ポスター制作について造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 ・表現方法創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	・自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成している。	・主体的にポスター制作の表現の創造活動に取り組もうとしている。
	12月				
	1月	木彫	・木彫について、造形の要素の働きを理解している。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かしている。	・木彫について、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。	・主体的に彫刻の表現の創造活動に取り組もうとしている。
3 学 期	2月				
	3月				

5. 教科担当者より

授業準備は休み時間に行うこと。

一つの課題を長い期間行うため、各自見通しを持って制作に取り組むこと。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
芸術	書道 I	2	必修(選択)	R6・1	全HR
使用教科書	書 I (光村図書出版)				
副教材	必要な道具 筆記用具 (筆・紙は教材費で一括購入、硯・下敷き・文鎮は学校のものを使用します)				

1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2. 学習方法

- ・基本的に、教科書を中心に授業を進めていきます。
- ・学ぶ分野は、漢字・かな・漢字かな交じりの書・篆刻です。主に臨書という学習方法を通して、筆の使い方や技法を学び、それらを生かして最終的には創作ができるよう取り組みます。
- ・技術だけでなく、時代背景や作者の意図に触れ、他者の意見に触れながら多角的に書道をとらえながら理解を深めていきます。

3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 ・書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。	・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。	・主体的に作品の表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	○書写から書道へ (書の世界にふれる)	・用筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。	・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫することができる。	・主体的に作品の表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	5 月	○漢字の書 I 楷書 学習古典・「孔子廟堂碑」「九成宮醴泉銘」「雁塔聖教序」「顔氏家廟碑」「牛橛造像記」「鄭義下碑」	・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。	・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。	・主体的に作品の表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	6 月		・書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。		
	7 月	○臨書から倣書へ			

2 学 期	9 月	○篆刻 ・ 姓名印の制作	・ 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 ・ 書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。	・ 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。	・ 主体的に作品の表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	10 月	○漢字の書 II 行書 学習古典・「蘭亭序」 「風信帖」 ・ 蘭亭序の書風を活かした創作	・ 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 ・ 書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。	・ 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。	・ 主体的に作品の表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	11 月	○仮名の書 学習古典・「蓬萊切」 「高野切第三種」 「寸松庵色紙」	・ 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 ・ 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。	・ 古典の書風に即した用筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 ・ 意図に基づいた表現について構想し表現している。	・ 主体的に作品の表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	12 月	・ 作品制作 (料紙を使って)			
3 学 期	1 月	○漢字仮名交じりの書 ・ 鑑賞	・ 目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に着けている。 ・ 漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。	・ 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成について構想し工夫している。	・ 主体的に作品の表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	2 月	・ 作品制作			
	3 月	○生活の中の書	・ 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。	・ 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。	・ 主体的に作品の表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

5. 教科担当者より

- ・ 授業では、さまざまな題材や分野を多く取り入れ、多彩な活動を展開します。積極的に取り組みましょう。
- ・ 書道室には授業で使用する道具がたくさんあります。丁寧に扱い、後片付けをきちんとしましょう。